

教科	道徳	科目	道徳	単位	1	年次	2
使用教科書	『新訂 新しい道徳2』東京書籍						
副教材	なし						

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

水都国際中学校では、中学校の全教員が道徳科の授業を担当し、生きる上で必要な様々な価値を、多様な背景をもつ教員の言葉と意思を通して伝えていきます。その中で、ただ「授業を受ける」のではなく、クラスメイトと共に「生き方を考える」時間としてほしいと思います。

2. 学習の到達目標

道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 知識・技能	b: 思考・判断・表現	c: 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 主 旨	よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うための、道徳的諸価値についての理解している。	自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考えることができる。	自己(人間として)の生き方についての考えを深めることができている。
評 価 方 法	・振り返り記述評価 ・教員による観察	・振り返り記述評価 ・教員による観察	・振り返り記述評価 ・教員による観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	1 自主、自律、自由と責任 2 節度、節制 3 向上心、個性の伸長 4 希望と勇気、克己と強い意志	左記の価値について、その価値の意味や重要性、実現するための方法、意見の分かれる所について議論し、それぞれの学びの振り返りを行う。なお、扱う価値については順不同。	○	○	○	それぞれの道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度が養われている。	・振り返り記述評価 ・教員による観察
5	5 真理の探究、創造 6 思いやり、感謝 7 礼儀						
6	8 友情、信頼 9 相互理解、寛容 10 遵法精神、公德心						
7							
8	11 公正、公平、社会正義 12 社会参画、公共の精神 13 勤労						
9	14 家族愛、家庭生活の充実 15 よりよい学校生活、 集団生活の充実						
10	16 郷土の伝統と文化の尊重、 郷土を愛する態度 17 我が国の伝統と文化の尊重、 国を愛する態度						
11	18 国際理解、国際貢献 19 生命の尊さ						
12	20 自然愛護						
1	21 感動、畏敬の念 22 よりよく生きる喜び 障がい者理解 男女共生 情報モラル						
2							
3							

※表中の観点について a: 知識・技能 b: 思考・判断・表現 c: 主体的に学習に取り組む態度

※原則として一つの単元 題材 で全ての観点について評価することとなるが、学習内容・小単元の各項目において重点的に評価を行う観点 もしくは重み付けを行う観点 について○を付けている。